

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成19年度 第6回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成19年11月28日(水)10時00分～12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 5階 502会議室		
出 者	委 員	生田議長、小柳副議長、敷地委員、佐道委員 武村委員、十河委員、池田委員、福島委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	玉邑生涯学習推進室長、後藤中央公民館長 小畑学校教育室長、横田中央公民館主幹 山川社会教育課長、村上スポーツ課長補佐 平瀬地域教育課主査、神吉社会教育課主任 計8名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 阪神北地区社会教育委員協議会 第3回理事会について (2) 兵庫県社会教育研究大会について (3) その他 2. 議 題 (1) 年間テーマ「よりよい地域教育システムづくり」 (2) サブテーマ「人をつながる場づくり」 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

審 議 経 過

No. 1

<p>議長</p>	<p>前回の社会教育委員の会の後に、社会教育施設等の視察を行いました。これは、6月の社会教育委員の会の論議で、現場の実態を知った中で論議をしていかなければいけないのではないだろうかという提起があり、それをもとに4箇所程まわりました。余り時間がありませんので、論議の中で感じられたこと、問題点等を述べていただけたらありがたいと思っております。</p> <p>年間テーマは「よりよい地域教育システムづくり」「人でつながる場づくり」ということで論議をしてきました。前は「人でつながる」、その「つながる」というところの趣旨を踏まえながら、家庭教育を主体として論議を進めてまいりました。川西の実態も行政サイドの方からも報告がありました。後2回しかありませんので、次回1月の時には教育委員会へ報告するところの素案が提示できるようにしていきたいと思っております。今日は前回に引き続いて家庭教育を踏まえた上で、場づくりの課題と問題等、皆さん方の自由討議の中で認識を深めて、年度末へ向けて素案作りの参考にできたらと思います。</p>
<p>副議長</p>	<p>前回10月24日に総合センター、中央図書館、子どもオンブズクラブ、教育情報センターを見学させていただいたのですが、その時総合センターに伺った時、総合センターは児童館、隣保館の役割を担っている施設ですが、夕方になると小学生の子ども達が3階の体育館で遊んでいました。最初に登録しておけばいつでも遊べる施設なのですが、職員の方に「中学生や高校生はどうなのですか。」とお話を伺うと、体育館を使用できるのは子どもだけという風におっしゃっていました。できればいろいろな人のつながりがそこできたらいいなという思いがしておりました。</p> <p>また、私どもが中間支援組織としてやっております、人づくりのためのまちづくり講座を開催しているのですが、先日黒川の公民館をお借りしてその周辺でアウトドアクッキングをしながら、市内</p>

<p>副議長</p>	<p>から参加されている受講者の方と地域の方と一緒にお話をさせていただいたとき、黒川の方も黒川公民館を核としたまちづくりをしたいという思いを持っていらっしゃるということがわかりました。</p> <p>それと、D委員からの兵庫県社会教育研究大会の第1分科会の報告がありましたが、豊岡市の子ども居場所づくりの事業として「八条わいわい教室」を設置され、その成果の中で「毎週土曜日の午前中には、八条地区公民館で仲間と集まって何かの活動ができる」という意識が子どもに定着した」とあります。</p> <p>新しい箱物はいませんが、場所の大切さを非常にこの3つから感じました。どこかへ行けばつながりを持てる場所がある、そこに行けばひとりぼっちであっても話ができる、子どもだけでなく大人も、高齢の方も。川西においてそれが一番できる所はどこかといえば、10館ある公民館、そのところで何か提案をしていけたらいいかなという思いはしています。</p>
<p>議長</p>	<p>A委員も社会施設の見学に行かれましたが、どうでしょうか。</p>
<p>A委員</p>	<p>総合センターでは子ども達がいきいきと遊んでいるのを見て、こういう所があって自由に来られていいなと思いました。前から公民館はすごくいい場所だと思っていて、新しい場所を作ることも大切ですが、施設をより大切に、より有効的に使っていくことが、公民館に限らず学校やどの施設に関してもあるのではないかと強く思っています。</p> <p>オンブズマンクラブですが、月に1回だけ子ども達が来る、そのためにあるということでした。あまり活発ではないが、ある一部の子ども達に対しては必要だという、そういう場所の捉え方も大切で、大事にしていかなければならないと同時に、その場所を例えばその子達が月に1回、土曜日に使う。では、使わない平日に子ども会の事務の会議の場所として使わせてもらうとか、有効的な、柔軟な考え方をしていくともっと施設を大切に、より良く使えていくし</p>

A 委員	<p>オンブズマンの方達も困っている子ども達だけでなく、活発に活動している子どもたちを知っていくということも、交流があることで深まっていったらいいなと感じました。</p> <p>図書館の方では、入った所ではたくさんの人達が来られていて本当に有効に使われているのだなと思いました。お話をお聞きした時、使用人数はちょっと下がっているとおっしゃっていたのですが、全然そういうことは感じられないぐらいたくさんの方が来られているなと感じました。子ども達の声もしましたし、年齢の高い方もおられ、年代的に幅広い方が有効的に利用されていると感じました。2階の資料室というのですか、川西のことだけを集めた本の棚があって、これはすごく面白いと思いました。これからリタイアして、今までは外へ出て働くばかりだった方に対して、川西を知っていただくためには、図書館に行ったら川西の歴史を記したものがたくさんありますということを知らせてくれたら、興味のある方はたくさん行かれると思うし、社会教育課でやっている遺跡等を巡りながらの学習会等にもつながって、広がっていったらいいなと感じました。</p>
議長	<p>B委員は、まわられてどうでしたか。</p>
B 委員	<p>図書館の話なのですが、すごく充実しているなと感じました。猪名川町の図書館では自習をしている中学生、高校生がたくさんいるのですが、川西の図書館もそういうスペースがもうちょっとあったらいいのになと思いました。あと、図書館の上の庭園みたいにしてある緑地帯で読書ができるのでしょうか。日向ぼっこをしながら読書をするとかそこと関連してできたらすごくいいなと思いました。</p> <p>それと、子どもの居場所づくりのことなのですが、川西市でも放課後の子どもの居場所づくりとかされていますが、例えば子ども会の方で活動していても、放課後プランとか毎週土曜日に何かをされ</p>

審 議 経 過

No.4

B 委員	<p>ると、子ども達にとっては行く場所を選択できるからいいという面もあるのですが、活動している方にしたら子どもが少なくなってしまう。そうなってくると子どもの取り合いにみたいな形になってくる場面も時々あるのです。今活動している所がそれを活性化しながら一緒に共同してできたら、子ども会の役員にとっても負担が軽くなり、いいことだと思うし、子ども達もいろいろなことに関われるし、子ども会の役員だけでなく地域の方ともふれあうことができ、すごくいい活動になっていくと思うので、今現在されている所との関連性を考えてできるようになったら、活発になっていくと思います。</p>
議長	<p>地域教育課からもお見えになっていますので、その辺の課題をどのように捉えていらっしゃるでしょうか。</p>
事務局	<p>子ども会の活動と放課後子ども教室の活動を、連携していくというのは、今すぐイメージとしてこうしたらいいというのは思い浮かばないのですが、何か方法を探っていくことは大切だと認識しています。今、放課後子ども教室の現状は、豊岡市の報告と同じように川西市でも広げられてはいつているので、子ども教室自体もこれからのものですし、順次拡大していきながら連携するところもいろいろ探っていかなければならないと思っています。</p>
議長	<p>C 委員どうでしょうか。</p>
C 委員	<p>例えば子ども会とスポーツ21が被ったりということでしょうか。</p>
B 委員	<p>はい。</p>

<p>C 委員</p>	<p>私も見学に行かせていただいて、居場所づくりという観点から少しずれるかもしれませんが、教育情報センターに初めて行かせていただいて、いろいろな活動をやっておられると非常に感じました。たまたま家に帰って話をしたところPTAとの絡みといたしますか、家内も教育情報センターに行って情報を取ったりしているようで、PTAの役をする方はそういう所に行きながら進んでいるのだな、非常に素晴らしいことだと感じました。</p> <p>総合センターに行って感じたことは、一つの場所を提供して子ども達が集まってきて、その地域の方しか集まってこれないのが非常に残念だなと思いました。そこは公民館の大きい版といたしますか、そういう形なのでいろいろなことができるし、子どもも集まりやすい所なので全体というのは難しいかもしれませんが、エリアを広げてやっていけたらいいのかなと感じました。</p>
<p>議長</p>	<p>D 委員、どうでしょうか。</p>
<p>D 委員</p>	<p>B 委員からあったように、子どもの取り合いみたいな形は現にあるらしいです。熱心なあまり、増やさなければいけないということにポイントを置くとそうになってしまう。近くに公園があり、公園で遊んでいるのに、その遊んでいる子どもを引き連れていくというような事例があって、目的は何なのかということを見ながらやっていかないと歪んでしまうのではないかと危惧をされていた。</p> <p>地域の状況に合わせて安全・安心に配慮して、川西の場合でも施設を作っているのですが、十分に理解されていないところがあるのではないかと。特にオンブズマンの場合、今回見学に行ったのは広場があって、例えば高齢者が行くような形になると場所的にはどうなのかと思う。困っている方の立場に立っても広い形で一般の方との交流も必要なのではないか。施設全体において地域の人たちが参加できるPRが必要なのではないかと。</p>

<p>議長</p>	<p>全国でひとつしかないオンブズパーソン制度の子どもクラブを見学しました。私自身が専門委員を兼ねておりまして、まだ十分PRできていないというか誤解もあるのではないかと考えています。あそこは相談場所でもあるのです。市役所の3階でお話を聞いたり事情を聞いたりすることはあまり多くなく、あそこが相談場所になっています。環境を変えた形の中でオンブズパーソンの方と子ども達、相談員とで事情を寄り添って聞いていく場というのはあそこが主体なのです。開いている土曜日は、かつてオンブズにお世話になった子ども達がその後の生活状況等、子ども自身で話し合いや懇談をしている、今はそういう形でやっています。担当は人権推進室なので市民生活部の主管になってます。居場所は居場所でも心の居場所的などころがあるので、箱物的なところではない要素がちょっとあるということを申し伝えておきますが、有効利用ということを考えていく意見も出ていますので、帰って話をしてみたいと思っています。</p> <p>私自身は場というのは、川西の場合は児童館も含めて結構あるなと改めて感じました。各地区にはこのような公民館を主体としたところの部分があります。校長さんの委員さんがいらっしゃいますので、学校サイドから見られた、地域のこのような子どもの場づくり、或いは大人の場づくりにつながる場面をどのように感じていらっしゃるか、学校教育の立場から感じられるところがありましたらお願いします。図書館、総合センターの児童館、教育情報センターにしてもオンブズクラブにしても、小中学生が絡んでいる部分があるのですがE委員どうですか。</p>
<p>E委員</p>	<p>子どもよりお父さん、お母さんについてですが、ネットワークを持っている方はお互いに情報交換やアドバイスをしあったりできていると思います。ただ、課題を持っている子どもを見ましたら、そういったネットワークに保護者が参加できていない。入る気がない</p>

<p>E 委員</p>	<p>方を入れるのは難しいが、中には困っていらっしゃるけれど、どこで参加したらいいのかわからない方を、まずは取り込めるようなことが必要と思っています。先程議長さんがおっしゃったようにあるのはあると思います。その辺のところをもっと広報していくこともまだまだ必要だと思っています。今スクールカウンセラーを中学校区ごとに配置していただいています。カウンセリングの方は生徒だけではなく保護者にもあります。だから我々も困っていると思ったらそういったカウンセリングを進めたりしながら、学校としても学校と保護者の縦の関係だけでなく、横同士の関係があるともっとフランクに話せるのではないかと考えています。</p>
<p>F 委員</p>	<p>P T Aさんはコミュニティや自治会の行事にも、メンバーに入って参加されています。コミュニティの組織等は年配の方が中心になってやっておられるのですが、そこに組織としてP T Aの方を呼び込むような形になっている場合が結構あると思います。或いは子どもがお世話になるからP T Aも絡んでいる。P T Aの役員をされた方は勉強になったと言われます。視野が広がったということだと思うのですが、そういう経験によって学校だけでなく地域にも目を向けるきっかけを持たれる。そういう意味でP T Aさんの役割は大きいかなと思います。先程、子どもの取り合いという話がありましたが、団体同士がつながりを作っていった協力関係を強めていく必要があると思います。学校としては窓口で一番強いのはP T Aさんです。</p>
<p>議長</p>	<p>スポーツ21と地域、学校との絡みや現状についてどのように見えていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>スポーツクラブ21は、今16小学校区にあるのですが、現実にはいい所と難しい所があり、それぞれ問題を抱えながらというところ</p>

事務局

るです。スポーツクラブ21を立ち上げたことによって、いろいろな形での視野が広がったということがあるかと思うので、効果は確実にあると考えています。どうしても行政主導型で立ち上げている経緯があるので、まだまだお願いをする中でクラブ運営・経営をしていただいているところがあります。各クラブが自立に向けて、立ち上げ当初から動いていただいた方々のご活躍していただいているのが事実なのですが、がんばっていただければいただく程負担も増えていく。毎年スタッフというのはひとつずつ年を取っていきますので、そういう立ち上げ当初の意欲のある方々から次の2代目の方々、運営とかスタッフとか指導者とかいう部分での支援というのもこれから我々が一緒に考えていかなければいけないと思っています。今現実の直近の問題としては、各小学校区の中でいろいろな団体が活動している中でスポーツクラブを立ち上げているので、小学校区によってのニーズの温度差が若干違います。既に盛んにスポーツ活動をされている中で、或いは子どもの居場所づくりの中での時間設定、場所を確保しているところに行っているので、グラウンドがない、体育館がない、道具が足りないということで「場所と道具をもっと用意してほしい。あればもっといろいろな活動ができるのに。」というようなご意見もいただいています。最終的には自立組織なので、これからは側面的にどうやって支援していくかが我々の課題にもなりますし、各スポーツクラブさんの課題としては次の人材をどういう風にして確保していくかというのがひとつの問題になっていくのではないかと考えています。そうしないと、今がんばればがんばる程次を引き継いだ時にものすごくしんどくなっていくということにもなりかねないので、その点が一番ポイントになっていくと思います。

兵庫県には各小学校区に作りましたので、八百数十クラブあるのですが、全国には2500しかない。47都道府県でその3分の1が兵庫県にあるというのが実態なのです。NPOだったりいろいろ

審 議 経 過

No. 9

事務局	<p>な形で各都道府県で作られてはいるのですが、国が推進しているのは中学校区レベルでひとつがいいだろうとされています。全国で少しずつ増えつつある中で兵庫は国体、それから別途の予算が付いたということで一気に作ったという、作ってよかった部分と急いだ分セメントが固まっていない部分があるのでその部分は今後県、市の行政と現場でご活躍いただいている方との連絡・連携というのは外せない大きな問題になっていると考えています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>昨年の報告を見ましても情報発信、コーディネーター役、地域のコミュニティや学校現場との連携・つながりをよりいっそう充実させていかなくは、「人でつながる場づくり」といっても空論で終わってしまっはいけないと論じられていたと思います。今日は主に家庭教育ではない視点から意見交換を行いました。次回の1月の時には本年のテーマに沿った形の意見をまとめる素案を提起し、2月の段階で本年度のまとめをして教育委員会へ提出していくという流れの確認を取らせていただきます。</p>
副議長	<p>先程スポーツ21や子ども会の話をもった時に思ったのですが、コーディネート役が必要だとずっと言ってきましたが、それが個人に委ねられていると継続が難しいのかなという気がしました。善意のボランティアで継続というのはしんどいと思います。例えば兵庫県下でしたら西部の方でNPO法人としてスポーツクラブ21をやっていたら所があったと思うのですが、組織となって運営資金を稼ぐ方法をきちんとやっていかないと継続は難しいと思います。組織としてコーディネートする団体を作っておくことが必要なのかなと思います。ひとつの小学校区でスポーツクラブ21があつてその中にいろいろなスポーツをされている方が関わっている</p>

副議長	<p>のですよね。そうしたらスポーツクラブ21の事務方が組織としてお金を持って、会員が会費を払わないといけないと思いますが、そういうシステム作りが必要。それは子どもの居場所づくり事業も2年か3年の国からの施策だったと思いますが、継続するためには善意のボランティアだけでは難しいと思うので、組織化されているような団体を巻き込んでコーディネートできるような中間支援的な組織が必要だと思います。その所をボランティアだけに頼ってしまうと継続が無理だというのが経験上の実感です。</p>
議長	<p>いろいろな諸団体でリーダーを作っていく、継続していくための支援組織ということになればコミュニティーという組織の重要性というものが改めて、今川西の現状ではコミュニティーというのがひとつの組織として大きな働きを持っているのではないのでしょうか。</p>
C委員	<p>地域によっていろいろあると思いますが、コミュニティー推進協議会という形のは立ち上がっていて、例えば清和台では、コミュニティー推進協議会を中心として地域が動いていると私は思っています。その中で今から立ち上げていくのは非常に大変なのかなということもあるし、F委員が言われたとおりPTAもその中に入っておられます。各団体が全てその中に入っておられて、コミュニティー推進協議会という会ができていくということが、まさしく中心として動いていくところではないかと私は考えております。</p> <p>それと、公民館の役割は地域の情報発信基地としてコミュニティー推進協議会に落とし込み、またそこに参加されていない方々にも公民館から発信できるのではないかと。そこで、公民館の館長がそういった仕事の役割を担っていただければと思います。</p> <p>各地域のリーダー、コミュニティー推進協議会の核となっておられる方は経験豊かなリタイアされた方々が中心になってやっておられるのが現状です。問題点としましては私どものような若い者がそ</p>

<p>C 委員</p>	<p>ここに参加するのは時間的に難しい現状があるので、その辺のところ が今後の課題だと思います。</p> <p>他市では福祉協議会とかが中心になってやられていますが、川西 市に関してはコミュニティー推進協議会に全ての団体が所属加盟で きるようなシステムができていると思いますので、そこを中心とな って進めていければと思っています。その中でも文化部会というの はいろいろな所の活動に適しているのではないかと私自身は考えて います。</p>
<p>議長</p>	<p>例えばある市内のコミュニティーで、青少年育成市民会議という のが当初できた頃から関わっておりまして、青少年育成市民会議と いうのがPTAのOBの方などを中心にしながら、そこが母体とな って上手くコミュニティーに広がっていったといった歴史的な背景 があります。ということは他市と比べてコミュニティー組織という のは充実しているのではないかと私自身は思います。</p> <p>先般も私のボランティア活動の中で川西コミュニティーですか、 出来立ての所なのですが、そこの子どもの事業を応援させていただ いて「初めて環境部の事業です。」ということで半日過ごさせてい ただいたのですが、やはりいろいろな組織が総括した形の中でのコ ミュニティーの充実、活動というのは川西では母体になっているの だなと改めて実感しました。その背景にはPTAなどいろいろな諸 団体が総括されているので、その辺と上手く連携が取れるというこ と、そして公民館との部分は評価していいと思います。</p>
<p>副議長</p>	<p>副議長が関わっていらっしゃるNPO関係の活用、入っていただ ける場面などありますか。</p> <p>私達のNPOはいろいろな団体をつないだり、いろいろな活動を バックアップする組織なので黒川のまちづくりの少しだけ後方か ら、もちろん地域づくりは地域の方が中心にされるのですが、ヒン</p>

審 議 経 過

No. 12

副議長	<p>トなりいろいろなスキルを提供してお手伝いするという役割をしています。おそらくどんな地域でもお手伝いできると思います。そういうので私達を活用していただけたらいいです。</p> <p>それと地域の事務的な運営は、コミュニティーという組織がありますが、役員になったからしているというだけでは、継続して責任を持ってやっていく時にはしんどい部分があると思います。地域できちんと事務局を担えるような所があれば、もっと皆さん楽にやっていけて、次の世代も育つと思います。リタイアされた方の力も大事ですが、若い世代から地域の事務局的なNPOとして、仕事としてやっていって、地域の方と連携を取って皆のつなぎ手となるような、そういう組織づくりだったらいいのかな、それがコミュニティーの中にあってもいいのですけど、お仕事としてされる部分もあってもいいのかなという気がしています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p>